

花房義實 はなぼうぎじつ 外交官。天保十二年一月一日備前國岡山生れ、大正  
六年七月九日歿（二八四—一九二七）。幼名虎太郎。號賦雲、長嶺居士。花  
房端進はなぼうたんしんの長男。兒玉順藏等、洋學を學び、緒方洪庵の門に入る。維新  
の際歐米に渡航、戊辰に歸朝して朝班に列し外交に従事。清韓兩國と  
修交條約の端を開き、朝鮮駐在辦理公使、駐露特命全權公使を務め、  
爾來新設の帝室會計審査局長官、宮内次官、樞密顧問官、また日本赤  
十字社社長を歴任。この間伏見宮・小松宮別當を兼任した。法學博士  
花房直二郎の兄。

關新吾執筆 子文辭花房義實君事略（黒瀬義門編、大正二年七月二十  
一日小林武之助刊）がある。